

授業科目

基礎作業学実習Ⅰ

科目コード番号	
対象学年	1
対象学科	作業
開講時期	後期
必修・選択	必修
単位数	1
時間数	30

【担当教員名】 榎本郁子、永井洋一、岡村太郎	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

作業療法の治療的応用のための基礎的な知識と技術を実習体験を通して習得し、人間の作業行為を、生理的、心理的、社会的、文化的側面から考え、治療的応用に結び付けられる能力を身につける

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	図画工作・美術用具用法辞典	相田盛二	日本文教出版	2001年第2版3204円
参考書	陶芸・やきもの作りの実際 図でわかる電動工具 図解・手織りのすべて	加藤元男 永雄五十太 村野圭市	マコー社 理工学社 衣生活研究会	
その他配布資料	プリント			

【評価方法】

出席、提出物（作品、チェックリスト、レポート）を総合評価

【履修上の留意点】

提出物の期限厳守

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

各々の作業行為に関する生理的、心理的、社会的、文化的関係を理解するとともに作業療法士として陶芸・木工・織物を指導できる知識と技術を習得する

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. 各作業に必要な作業工程を説明できる
2. 各作業に必要な用具・材料を列挙し、その使用法を説明できる
3. 各作業に必要な注意事項を列挙できる
4. 材料・用具を責任持って手入れと管理ができる
5. 各作業の工程毎に必要な技法を体験する
6. 作品を一つ完成させる
7. 自分の作品の材料及び工程分析ができる
8. 自分の作品を統合して分析できる

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	陶芸・木工・織物実習のオリエンテーション				プリント
2 ～ 5	1. 陶芸実技（手びねり） 1) 土練り 2) 成形 3) 素焼き 4) 施釉 5) 本焼き 6) 仕上げ	1～8	岡村太郎	講義 実習 個人学習	
6 ～ 9	2. 木工実技（小作品） 1) 製図 2) 制作 3) ニス塗り 4) 仕上げ	1～8	永井洋一	講義 実習 個人学習	プリント
10 ～ 13	3. 織物（小作品） 1) デザイン・計算 2) 整経 3) 経糸通し 4) 織糸とり 5) 織る 6) 仕上げ	1～8	榎本郁子	講義 実習 個人学習	プリント
14	作品鑑賞 作品分析	1～8			

その他

グループ分けて作業を実施するため、作業内容と回数に変動が有り得る